

編集後記

昨年12月号の編集後記には直前にフィリピンを直撃した台風のすごさのことを書きましたが、今回はマグニチュード9が引き起こす地震と津波のことを書かせていただきます。犠牲になられた方々には心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様の生活再建と地域の日も早い復興を願っております。

台風もそうですが、我々はプレート境界線上にある国に生活しながら、大規模な津波はチリやインドネシアのことで、まさに対岸の火事のように思っていなかったでしょうか。私自身自分で勝手に境界線を引いて想定外にしてしまうバカの壁になっていたと今更ながら反省しています。メルトダウンや放射能汚染水の垂れ流しも日本は起こさないと決め込んでいたために未だに受け入れがたい気持ちですが、我々は今、この起こって（起こして）しまった現実を素直に認めることから始める必要があります。これから一連の安全基準や設計基準の見直しが始まると思いますが、今までの設備はここまでしかたない、この機械はここまでしかできないという本音を言う

勇気が、まず求められているのではないのでしょうか。絶対安心・安全なものとは作れないということを自覚すれば、それに近づく努力を今後も続けられます。

さて、今月号は維持管理、長寿命化、リニューアルで構成しました。巻頭言は東洋大の福手先生にお願いしました。激甚災害があっても社会資本の維持管理の重要性は変わらないことを示していただきました。特集では既設の導水路トンネルを活かしての延命対策や、仮設工事が大変な山間部でのダム用ゲートの整備工事、結局はゲートをコンクリートに埋設されている部分以外、全て更新した工事などを紹介しました。また耐震性能や長寿命に優れた铸铁管や、鉄筋コンクリート構造物に金属溶射する防食工法、様々な点検、検査技術についても紹介しました。「21世紀は管理の時代」と言われて久しいですが、「社会資本のアセットマネジメント」（福手先生）も踏まえ、適切な維持管理をこれからも続けていくことが求められます。これらの報文が少しでも参考になれば幸いです。お忙しい中、快く執筆依頼を引き受け、寄稿していただいた皆様はこの場を借りて厚く御礼申し上げます。（安川・松本）

機関誌編集委員会

編集顧問

| | |
|-------|-------|
| 浅井新一郎 | 今岡 亮司 |
| 加納研之助 | 桑垣 悦夫 |
| 後藤 勇 | 佐野 正道 |
| 新開 節治 | 関 克己 |
| 高田 邦彦 | 田中 康之 |
| 塚原 重美 | 寺島 旭 |
| 中岡 智信 | 中島 英輔 |
| 橋元 和男 | 本田 宜史 |
| 渡邊 和夫 | |

編集委員長

| | |
|-------|---------|
| 田中 康順 | 鹿島道路(株) |
|-------|---------|

オブザーバ

| | |
|------|-------|
| 山下 尚 | 国土交通省 |
|------|-------|

編集委員

| | |
|-------|----------------|
| 山田 淳 | 農林水産省 |
| 伊藤 健一 | (独)鉄道・運輸機構 |
| 石戸谷 淳 | 首都高速道路(株) |
| 松本 久 | (独)水資源機構 |
| 松本 敏雄 | 鹿島建設(株) |
| 和田 一知 | (株)KCM |
| 安川 良博 | (株)熊谷組 |
| 渥美 豊 | コベルコ建機(株) |
| 富樫 良一 | コマツ |
| 藤永友三郎 | 清水建設(株) |
| 赤神 元英 | 日本国土開発(株) |
| 山本 茂太 | キャタピラー・ジャパン(株) |
| 星野 春夫 | (株)竹中工務店 |
| 齋藤 琢 | 東亜建設工業(株) |
| 相田 尚 | (株)NIPPO |
| 田岡 秀邦 | 日本道路(株) |
| 堀田 正典 | 日立建機(株) |
| 岡本 直樹 | 山崎建設(株) |
| 中村 優一 | (株)奥村組 |
| 石倉 武久 | 住友建機(株) |
| 江本 平 | 範多機械(株) |
| 京免 継彦 | 佐藤工業(株) |
| 松澤 享 | 五洋建設(株) |
| 藤島 崇 | 施工技術総合研究所 |

7月号「建設施工の安全特集」予告

- ・「足場からの墜落防止措置の効果検証・評価検討会」報告等
- ・労働災害防止の観点から視る建設施工における安全対策
- ・墜落災害防止のための仮設構造物
- ・巨勢山トンネルでの掘削作業における安全対策
- ・九州新幹線 俵坂トンネル（西）での安全対策
- ・北陸新幹線神通川橋梁での橋梁施工における安全対策
- ・深層混合処理船「ボコム12号」における安全対策
- ・労働安全衛生マネジメントシステム —労働災害・公衆災害の根絶を目指して—
- ・安全建設気象モバイル KIYOMASA の活用
- ・移動式クレーンの施工時安全対策
- ・除雪機械の除雪での安全対策

No.736「建設の施工企画」 2011年6月号

〔定価〕1部840円（本体800円）
年間購読料9,000円

平成23年6月20日印刷

平成23年6月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501 ; Fax (03) 3432-0289 ; <http://www.jcmanet.or.jp/>

| | | |
|-----------|----------------------------|-------------------|
| 施工技術総合研究所 | 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 | 電話 (0545) 35-0212 |
| 北海道支 | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8 | 電話 (011) 231-4428 |
| 東北支 | 〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1 | 電話 (022) 222-3915 |
| 北陸支 | 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 | 電話 (025) 280-0128 |
| 中部支 | 〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26 | 電話 (052) 241-2394 |
| 関西支 | 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4 | 電話 (06) 6941-8845 |
| 中国支 | 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 | 電話 (082) 221-6841 |
| 四国支 | 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 | 電話 (087) 821-8074 |
| 九州支 | 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26 | 電話 (092) 436-3322 |

本誌上への広告は (株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8 (精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL : info@kyoeitushin.co.jp
担当 本社編集部 宗像 敏